

研究の概要

2023 年 6 月 26 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名：	不妊治療初診時期の心理カウンセリングと治療中断、妊娠との関連：コックス比例ハザードモデルを用いた後ろ向きコホート研究の試み
代表研究者 (所属)：	小泉智恵 埼玉独協医科大学リプロダクションセンター
研究の目的：	不妊治療開始時期に心理カウンセリングを受けることは治療継続、妊娠卒業に効果的であるかどうかを検討する。
研究の方法 (使用する試料/情報等)	患者背景、治療経過、初診時期のカウンセリングを受けた回数を使用する。
研究対象者・期間	2016年から2019年に初診を受けた女性患者様
個人情報の取り扱い：	データを集計する際は個人をIDで識別するため、個人名は公開されない。
本研究の資金源 (利益相反)：	利益相反状態はなし。
お問い合わせ先	HORAC グランフロント大阪クリニック 統合医療部門 田中 久美子 電話：06-6377-8824
備考	研究承認番号：2023-05 承認日：2023年6月8日

2016年から2019年にHORAC グランフロント大阪クリニックで初診を受けた女性患者様へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

HORAC グランフロント大阪クリニックでは、2016年から2019年に初診を受けた女性患者様の診療録(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施致しております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願い致します。この研究を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることは一切ございません。

本研究への協力を望まれない患者様および本研究の詳しい内容（研究計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

【研究課題名】

不妊治療初診時期の心理カウンセリングと治療中断、妊娠との関連：コックス比例ハザードモデルを用いた後ろ向きコホート研究の試み

【研究の背景と目的】

多くの患者は不妊治療でストレスを経験しています。不妊治療によるストレスを理由に治療を中断する患者は多いのが現状です。不妊治療によるストレスに対するケアとして心理カウンセリングを受けると、ストレス軽減、治療継続、妊娠卒業に至ったという研究結果が報告されていますが、国内ではまだ研究が不足しています。

そこで本研究は、不妊治療初診時期に心理カウンセリングを受けることは治療継続、妊娠卒業に効果的であるかどうかについて、患者様の診療録を閲覧して検討することを目的としています。

【対象となる方】

2016年から2019年に初診を受けた女性患者様

【使用する診療情報】

使用する診療録は以下の通りです。

- ・患者背景（生年月日、初診時年齢、初診時期に測定された抗ミューラー管ホルモン値、経妊産の有無
- ・治療経過（初診年月日、治療初回の妊娠判定日、治療初回の妊娠判定結果、最終受診日、最終受診日の結果（妊娠卒業、妊娠せず治療終了、その他）、2カ月以上治療中断したか否か、中断開始日、中断後治療再開日、初診時期にカウンセリングを受けた年月日、カウンセリングを受けた回数）

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者様を特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は国内外の学会、関連雑誌での公表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は公表いたしません。

【代表研究者】

埼玉独協医科大学リプロダクションセンター 小泉智恵

【問い合わせ先】

HORAC グランフロント大阪クリニック 06-6377-8824 (代)

受付曜日：月曜日～土曜日

担当者：生殖カウンセラー,がん・生殖専門医療心理士 田中久美子